

府中市健康地域づくり審議会
第17回次世代創造分科会 報告書

- 1 日時：平成29年8月23日（水）13：30～15：00
- 2 場所：府中市役所2階 第一応接室
- 3 出席者：谷 秀 樹（分科会会長） 板 橋 千代美（分科会副会長）
山 路 ヒロコ（分科会委員） 吉 原 純（分科会委員）
水主川 緑（分科会委員） 宗 藤 正 典（分科会委員）

4 概 要

(1) 開 会

(2) 分科会長あいさつ

(3) 報告

- ① 報告1 平成28年度「府中市子ども・子育て支援事業計画」の「量の見込みと実績」について
- ② 報告2 新しいPOMの進捗状況について

(4) 議事

- ① 議事1 平成29年度分科会施策の管理シート（期中報告）について
- ② 議事2 平成30年度から取組みを始める事業について
 - ㊦ 「ひろしま版ネウボラ」構想について
 - ㊧ 「放課後児童クラブ」の今後のあり方について

以下、主な質疑及び意見等

【報告1】平成28年度「府中市子ども・子育て支援事業計画」の「量の見込みと実績について」

質 問 子育て支援センターは見込みの4倍の実績があるということか。

事務局 年々実績数は上がっている。

質 問 延長保育についても見込みに比べて実績は多い。使える時間が変わったとか働き方のスタイルが変わった等理由は。

事務局 どちらの理由も考えられる。また、お勤めが遠方の場合だと、送迎時間も遅くなったり早くなったりもある。

【報告2】新しいPOMの進捗状況について

質 問 プラネタリウムは廃棄するのか。飾るのか。

事務局 現時点でははっきりしていない。

【議事1】平成29年度分科会施策の管理シート（期中報告）について

質 問 学生だけが対象か。保護者は。

事務局 中学2年生のみが対象である。今年度は3年生へもアンケートを実施し、1年経ってどうかということについて調査してみたい。

質 問 こういうのをした方がいいなど先生からの話はあるか。

事務局 先生方は毎年話を聞かれるので少し変わったことをした方がいいのではというご意見はいただく。しかし、毎年1年生は変わる。自立というのはこういうことであるとベースの部分、自分と社会とのつながりの部分を伝えていただいている。

意 見 今年度、府中中央ライオンズが今子どもたちに伝えたいことという題名で社会で活躍されている方、被災された方など4名の講師を招き全中学校に出向いて出前授業を行う。同じような意図をもって活動されていると思うのでなにかつながりができたらいいのではないか。

質 問 家庭を持つことをイメージするとはどんな話をされるのか。

事務局 今は家族に守られている存在であること。しかし、大人の時期はすぐそこに迫っていること、また人間の社会は家族を持つことが基本で存続していくことをお話いただいている。

意 見 婚活イベントについては、団体がイベントをしても成果がなかなか出ないということで悩まれていることを聞く。

意 見 お見合いみたいな感じであるのがいいのかもしれない。

質 問 女性の活躍推進応援事業について、イクボスセミナーの開催ということだが、人は集まりそうか。

事務局 今年度は府中法人会の研修に組み込んでいただく。

質 問 講師は。

事務局 ファザーリングジャパンの講師を考えている。

質 問 子育て訪問サポート事業について。利用者件数2件とあるが、本当は関わらなければいけないケースはどのくらいあるのか。

事務局 妊娠中の支援が5件に対し、昨年度産後支援したケースは33件。妊娠中から関係を築いておけば産後の支援が必要なケースは減るのではないかと思う。

【議事2】平成30年度から取組みを始める事業について

(ア)「ひろしま版ネウボラ」構想について

質 問 女性こども課の担当分野と健康医療課の母子保健の分野が一緒になって総合窓口になるということか。

事務局 専門の相談員を設置する。また新しい部署になるかは決まっていないが、どのように連携していくのかは次の話である。

質 問 総合窓口で母子保健の全ての内容について相談できるのか。また担当した方は生まれる前、生まれて3～4年の間ずっと担当になるのか。

事務局 子育て関係もある。どこにいったらという話をすればいいのかということはないと思う。また、担当にずっと同じ人がつくかどうかは今の段階では固まっていないが、専門の相談員は研修を受けた人でなければならないため、人がころころ変わることは想定していない。

意 見 親としては生まれる前後、相談の幅も広がるので総合窓口ができるというのはすごくいい。

意 見 府中市は平成26年に女性子ども課を立ちあげ、ワンストップ一本化の方向にきている。府中市の規模なら十分にできると思う。

意 見 子育て訪問サポート事業の問題も拾えるかもしれない。

(イ)「放課後児童クラブ」の今後のあり方について

意 見 いろんな疾病をもったお子さんが増えていることもあり、現在の飽和状態の中でどのように対処していくか、他の施設も利用できるの、安全性や支援員のこともあわせ分科会で協議また進捗管理していく。

(5) 事務連絡

(6) 閉会 分科会副会長あいさつ